

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和6年度実績）

施策 No.28 河川・水路環境の整備										基本計画 掲載頁	100～101
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数		A	0	B	3	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	2	C	0
成果	水辺に親しめる環境づくりとして、柳瀬川及び黒目川について定期除草作業を行い、適正に遊歩道の維持管理を行った。 また、野火止用水については定期的にパトロールを行い、景観に配慮した暮らしに身近な水辺空間の維持管理を行った。 埼玉県と協議調整し、柳瀬川沿いの遊歩道未舗装区間において、埼玉県が舗装を整備した。			成果・課題を 踏まえた今後の 対応方針	引き続き、柳瀬川及び黒目川における遊歩道や、野火止用水の適正な維持管理に努めていく。						
課題	水辺空間の整備には恒常的に取り組んでいく必要がある。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 水辺に親しめる環境づくり	評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1 柳瀬川、黒目川について、整備の完了した遊歩道の適切な維持管理を進めるとともに、ウォーキングやサイクリング、自然観察など、市民が気軽に親しめるレクリエーションの場として積極的な活用を図ります。	B	・定期除草作業を行い、適正に遊歩道の維持管理を行った。 ・埼玉県と新座市が協議調整を行い、柳瀬川沿い遊歩道の一部未舗装区間において、新座市が維持管理することを条件に埼玉県が舗装整備を行った。整備されたことで、利便性の向上が図られた。	道路河川課
2 野火止用水について、護岸の補修を適宜行い、暮らしに身近な水辺空間としての活用を図ります。	B	・定期的にパトロールを行い、景観に配慮した修繕を随時行った。	道路河川課
3 市民との協働により、清掃活動や啓発活動を進め、快適な水辺空間を創出します。	B	・ボランティア団体と連携を図り、水辺空間の維持管理を行った。 ボランティア団体数1団体、活動場所数1箇所、活動件数1件。	道路河川課

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	目標値	令和６年度時点 達成度	所管課